

アニソンオーディオフェス2025 作品資料

パッシブのあ

1. 作品名 『受動娘娘 Mk. II A』(ぱつしぶにゃんにゃんまーくつーえー)

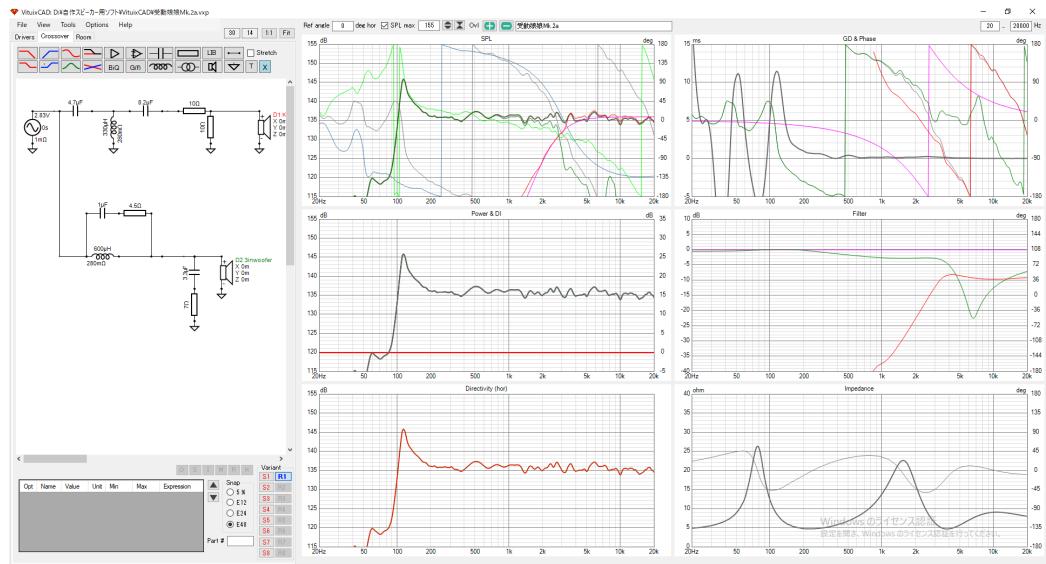


コンセプトは「はじめての中華ドライバー2Way製作の実際」といったところでしょうか。アリエクで入手したドライバーを使用し、測定とシミュレーションに基づくスピーカーを作ったら、どのような課題が見えてくるのか？コスパは良かったりするのか？を実際に「作ってみた」しました。

2. ネットワーク構成、周波数特性など

ARTA、vituixCAD、DATS V3等を使用し、型どおりに作成したつもりですが、多々間違つたまま進めてる所も多いと思われ…

クロスオーバ周波数は2.6kHzとしました。

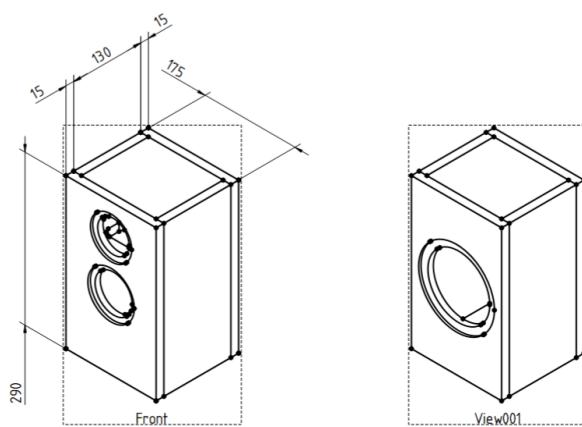


PR調整前のシミュレーション上の特性(最終的な特性の測定はしていません)

(正直わからないことだらけなのでわかる人が見たらだいぶ変になっていると思われます。)

3. エンクロージャーについて

15mmMDFを使用し、ストーリオ(株)様に加工を依頼しました。



4. 使用ユニットについて

a. ツイーター 『KASUN AUDIO ACC-1377』

今回の中華ドライバーの中ではいちばん素性がはっきりしており、メーカーがデータシートを用意してくれているので採用しました。



b. ウーファー AIYIMA 不明 3inchウーファー

近年知名度を上げている中国のオーディオメーカーAIYIMA(アイイーマ)のウーファー…らしいのですが、公式サイトでは裸のドライバーのランナップは掲載されておらず、アリエクでセラーのページを見ても型番等は不明です。3インチにしてはボイスコイルが太く



(φ25mm)QtSが低めだったので採用。

c. パッシブラジエーター GHXamp 不明 5inchパッシブラジエータ

PRとして設計されたものではなく、汎用部品を寄せ集めてPRとしたものではないかと推測。ファイバーな振動版がかっこいいので採用。DaytonaudioなどのPRと違い、重り取り付け用台座が無いため低発泡塩ビ板を切り出しインサートナットを圧入して自作しました。

